

男子ホッケーU21日本代表チーム マレーシア遠征

日付	2015年2月14日 19:00~20:15	天候	曇り時々雨
場所	マレーシアクアラルンプール	通算結果	日本 2勝1分
試合	第3戦		

RESULT

Country

日本
U21

Final	2 - 2
Third Period	
Half-time	1 - 0
First Period	

Country

マレーシア
U21

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	2	青山力也(東農大)			
✓	3	川村敬亮(明治大)			
✓	4	内藤 幹(立命大)			
✓	5	木下拓弥(立命大)			
	19	6	新井大地(立命大)		
	16	7	渡辺晃大(丹生高)		
	8	8	小沢 諒(山学大)		
✓	9	山崎晃嗣(山学大)			
✓	10	伊藤義一(山学大)			
	10	11	朝倉祐樹(山学大)		
✓	13	福田健太郎(天理大)			
	16	14	田中海渡(天理大)		
✓	15	落合大将(天理大)(C)			
	12	16	山水翼瑳(天理大)		
✓	17	山田翔太(天理大)			
	8	18	和久利裕貴(天理大)		
✓	1	高橋優成(駿河台大)(GK)			
		12	吉川貴史(天理大)(GK)		
	8	19	宮崎俊哉(早稲田大)		
✓	20	近藤辰徳(丹生高)			
Coach	坂本 実				
Manager	朱 光珍				
UMPIRE	K. Lingan				

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	21	Ahmad Ashraf B.alias			
6	5	Azril B.Misron			
✓	28	Mohammad Ridzwan (GK)			
✓	3	Mohd Ashran B.Hamsani			
6	1	Muhd Aminuddin			
✓	14	Muhd Amirrol Aideed (C)			
✓	10	Muhd Azwar B.Abd Rahman			
✓	7	Muhd Najim B.Abu Hassan			
✓	26	Muhd Najimi Farizal			
✓	9	Muhd Sufi Ismat			
✓	6	Nor Azrul B.Abd Rahman			
	11	17	Muhammad Firdaus B.Fauzi		
✓	11	Rafizul Ezry B.Mustafa			
✓	19	Syed Mohd Syafiq			
6	8	Safeed B.mustafa			
7	15	Nik Muhammad Aiman			
14	16	Amirul Afiq B.Azhar			
7	4	Lukhan			
10	12	Firaus			
15	24	Kauarul			
Coach	Arul Selvarai				
Manager	Mirmawan Nawawi				
UMPIRE	Nor Azhar Abidin				

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	15	宮崎俊哉	PC	1-0
MAS	65	Muhammad Firdaus	PC	1-1
JPN	69	落合大将	FG	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score
MAS	70	Muhd Najim B.Abd	FG	2-2

ベンチから上空を見上げると、どんよりとした雲に覆われたスタジアムの近くから雷が鳴っているのが聞こえる。今にも雨は降りそうな中第3戦が始まった。今回のツアーは、全員の力を試すことも必要であるため、この一戦はスタメンを入れ替え色々な角度から選手に体験させることを試みた。

また、この一戦はマレーシアにとっても非常に大切な試合であることが、マレーシアのベンチ及び選手のアップ時からヒシヒシと日本側に伝わってきた。このような中立ち上がりから、両国は激しいボールの奪い合いとなった。日本は緊張感を持ちながら冷静に試合運び15分に初めてのPCを得る。これまでの試合は、最初のPCで得点しているが・・・と思っていた矢先に、No.17山田のバントをNo.16山水がシュートし、リバウンドをNo.19宮崎が押し込み先制とする。その後日本は、追加点を奪える決定的なチャンスが2度3度と訪れるが、相手のプレッシャーもあり正確なシュートを打つことが出来ない。よって、欲しい追加点が奪えない。日本の前半の守備では、マレーシアにシュートは1本も打たせない、完璧な守備であった。後半に入ると、日本は少し押されざみとなり守りの時間が多くなってきた。日本もサークルに入る回数も前半に比較すると少なくなってきた。試合は、どちらかというとマレーシアペースで進み、63分マレーシアがこの試合初めてのPCを得た。マレーシアはフリックシュートを打ってきたがNo.10伊藤がハイスティックでボールにあてシュートを防いだ。マレーシアが2本目のPCを65分に得る。フリックシュートが日本側のスティックにあたりこぼれたところをNo.17が押し込み得点を許すこととなった。その後は、日本も得点を狙いに行き、PCを2本得るが得点には至らない。スコアードローのまま試合が終了すると思われる中、日本はマレーシアのボールを中盤でNo.19宮崎が奪う。そのままサークルの左サイドに位置していたNo.18和久利へつなぎゴール前まで走っていたNo.15落合へ正確なパスが渡りそのままタッチとなり得点し勝ち越した。その直後、マレーシアが左サイドから一瞬のすきをつきサークルに入りシュートし追加点を奪い、引き分けのまま試合が終了となった。日本としては、とても後味の悪い引き分けとなった。いずれにしても、今日の試合は今までの試合の中でも一番内容が良かった。しかしながら、国際試合は結果が大切であるため次の第4戦に試合内容、結果とも両方を重視し試合に臨みたい。

日本U21	シュート数		マレーシアU21
	3	2	
	PC数		
	3	2	

次戦(第4戦) 2月16日(月) 19:30 ~ 日本U21対マレーシアU21 掲載責任者 男子U21責任者 坂本 実